

税制改悪と社会保障の切り捨て による区民負担増の軽減を

【質問】 税制改悪・住民税のフラット化・社会保障の切り捨てによる負担増に苦しむ区民を支援することは緊急な課題 ①住民税、国保料、介護保険料の激変緩和措置の継続を ②区民のくらしを支援する立場で区独自の対策の検討を

負担増の軽減を



【質問】 ①介護保険料の激変緩和措置を継続すべき ②保険料軽減のため、一般財源を投入すること ③家事援助サービスなど、区として独自支援を行うこと ④非課税世帯が対象のホームヘルプサービスや、訪問看護の三割負担を他のサービスにも拡大すること

介護保険料・利用料の軽減を

【質問】 ①介護保険料の激変緩和措置を継続すべき ②保険料軽減のため、一般財源を投入すること ③家事援助サービスなど、区として独自支援を行うこと ④非課税世帯が対象のホームヘルプサービスや、訪問看護の三割負担を他のサービスにも拡大すること

【質問】 ①引き続き、政令改正の動向を踏まえるとともに、給付費の推移を注意深く見極めて、適切に判断する。②将来にわたり、安定した介護保険制度を運営していくためには、区的一般財源の投入により介護保険料を

【質問】 ①国や東京都に対し財政負担を増やすよう求めるべき ②一般財源を投入し、保険料を引き下げること ③港区独自の減免制度を創設し、被災の場合だけでなく、生活困窮も対象とすること ④命まで奪いかねない「保険証の取り上げ」、「資格証明書」は発行しないこと ⑤健診費用は無料とし、今までもおり希望者全員が受けられるようにすること ⑥葬祭事業を港区独自で行うこと

【質問】 ①国や東京都に対し、緊急要望を行った。経緯等を見守りながら、適切に対処する。②これ以上の一般財源投入は困難であり、都に財政支援を要望。③保険料の減免は広域連合の権限事項であり、独自に保険料を減免することはできない。④広域連合と連携して慎重な運用に努める。⑤希望者が受診出来るよう配慮する。⑥区独自で実施する方向で検討。

新しい高齢者医療制度 中止・見直しを

【質問】 後期高齢者医療制度は、①すべての七十五歳以上の方から高額な保険料を徴収し、②保険料を滞納した場合、保険証を取り上げることや③診療報酬を「包括払い(定額制)」にし、医療制限をするなど、様々な問題点が指摘されている。来年四月のスタートを前に、政府・与党も一部手直しをせざるを得ない状況だ。

【質問】 ①国や都に対し、緊急要望を行った。経緯等を見守りながら、適切に対処する。②これ以上の一般財源投入は困難であり、都に財政支援を要望。③保険料の減免は広域連合の権限事項であり、独自に保険料を減免することはできない。④広域連合と連携して慎重な運用に努める。⑤希望者が受診出来るよう配慮する。⑥区独自で実施する方向で検討。

障害者自立支援法の抜本的な見直しを

【質問】 ①応益負担の廃止等の抜本的な見直しを国に要求すべき。②すべてのサービスの利用者負担を、所得制限なしで3%に軽減すべき。

【質問】 ①適切に対応する。②現在のところ考えていない。③港区独自の住宅対策は考えていない。

【質問】 ①ネットカフェを生活の安定が図られ、生きがいを持ちながら、安心して生活できることは大切だ。②考

【質問】 ①ネットカフェを生活の安定が図られ、生きがいを持ちながら、安心して生活できることは大切だ。②考

社会的貧困をなくすために

【質問】 ①個別具体的に判断する。②「国保だより」などの活用を検討

【質問】 ①適切に対応する。②現在のところ考えていない。③港区独自の住宅対策は考えていない。

乳ガン手術後の弾性スリーブに助成を

【質問】 乳ガン手術後に、腕のむくみ、炎症を防ぐために、リンパ浮腫の治療用装具・弾性スリーブの着用が効果的だ。①弾性スリーブを療養費支給の対象に②内容を周知すべき

【質問】 ①適切に対応する。②現在のところ考えていない。③港区独自の住宅対策は考えていない。

【質問】 ①全国いっせい学力テストの中止について ②三十人学級、少人数学級の実施について ③民間賃貸住宅家賃助成制度の復活等について ④区民主体のまちづくりについて ⑤オリピック招致運動について ⑥安心して子どもが産める社会への緊急対策について ⑦高層住宅用「階段避難者車について」 ⑧都営住宅跡地や旧公務員宿舎の確保について ⑨小学校の校庭や、幼稚園・保育園の園庭の芝生化について ⑩屋外スポーツ広場の確保について

【質問】 ①全国いっせい学力テストの中止について ②三十人学級、少人数学級の実施について ③民間賃貸住宅家賃助成制度の復活等について ④区民主体のまちづくりについて ⑤オリピック招致運動について ⑥安心して子どもが産める社会への緊急対策について ⑦高層住宅用「階段避難者車について」 ⑧都営住宅跡地や旧公務員宿舎の確保について ⑨小学校の校庭や、幼稚園・保育園の園庭の芝生化について ⑩屋外スポーツ広場の確保について

【質問】 ①全国いっせい学力テストの中止について ②三十人学級、少人数学級の実施について ③民間賃貸住宅家賃助成制度の復活等について ④区民主体のまちづくりについて ⑤オリピック招致運動について ⑥安心して子どもが産める社会への緊急対策について ⑦高層住宅用「階段避難者車について」 ⑧都営住宅跡地や旧公務員宿舎の確保について ⑨小学校の校庭や、幼稚園・保育園の園庭の芝生化について ⑩屋外スポーツ広場の確保について

【質問】 ①全国いっせい学力テストの中止について ②三十人学級、少人数学級の実施について ③民間賃貸住宅家賃助成制度の復活等について ④区民主体のまちづくりについて ⑤オリピック招致運動について ⑥安心して子どもが産める社会への緊急対策について ⑦高層住宅用「階段避難者車について」 ⑧都営住宅跡地や旧公務員宿舎の確保について ⑨小学校の校庭や、幼稚園・保育園の園庭の芝生化について ⑩屋外スポーツ広場の確保について

【質問】 ①全国いっせい学力テストの中止について ②三十人学級、少人数学級の実施について ③民間賃貸住宅家賃助成制度の復活等について ④区民主体のまちづくりについて ⑤オリピック招致運動について ⑥安心して子どもが産める社会への緊急対策について ⑦高層住宅用「階段避難者車について」 ⑧都営住宅跡地や旧公務員宿舎の確保について ⑨小学校の校庭や、幼稚園・保育園の園庭の芝生化について ⑩屋外スポーツ広場の確保について

【質問】 ①全国いっせい学力テストの中止について ②三十人学級、少人数学級の実施について ③民間賃貸住宅家賃助成制度の復活等について ④区民主体のまちづくりについて ⑤オリピック招致運動について ⑥安心して子どもが産める社会への緊急対策について ⑦高層住宅用「階段避難者車について」 ⑧都営住宅跡地や旧公務員宿舎の確保について ⑨小学校の校庭や、幼稚園・保育園の園庭の芝生化について ⑩屋外スポーツ広場の確保について

なんでも相談会

☆毎月第3月曜日、午後6時30分より 青山福祉会館を予定 (南青山2-16-5)
☆事前にご連絡いただくと幸いです。☆連絡先…風見宅Tel3400-5015 控室Tel3578-2945



風見利男 (日本共産党 港区議会議員) 区政とあなたを結び

137

政治革新の道しるべ 真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月2,900円 日曜版●月800円

Email ●kazami@jcp-minatokugidan.gr.jp
HP ●http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp/

高校中の建替え工事契約を承認

温水プールは地域開放

第四回定例区議会に、高陵中学校の建替えについて、全会一致で議決されました。敷地が狭いため、地下を利用したりする大変な工事ですが、二〇一〇年には新校舎で三学期を迎える予定です。新校舎には、温水プールができ、夜間や休日には、地域の方々に一般開放される計画です。



校舎完成模型写真

「石油高騰に緊急対策を」 党区議員団提案の意見書

風見区議が提案してきたウォータークーラー、温水シャワーも設置予定です。現在は、仮校舎で勉強しています。党議員団は、プッシュアップ校舎では、隣の教室のチャオクの音、雨の音などで先生の声が聞き取れないなど生徒の声を取り上げ、改善を求めました。

高層住宅に階段避難車の貸与を

災害時、高層住宅のエレベーターが停止した時、病人やけが人、高齢の方を階段で降ろすのは大変です。「階段避難車」は、狭い階段でも利用でき、容易に避難させることが出来ます。本会議で、「高層マンションの自治会や防災住民組織に貸与すること。管理組合などで購入する際、助成すること」などを提案しました。区長は、避難対策として「階段避難車の配備は一つの方法として考えられる」、高層住宅を対象とした階段避難車の配備について、「検討を進めています」と答弁しました。

ハチ公バスが循環運行 (渋谷～原宿～千駄ヶ谷～代々木) 表参道から青山三丁目を経由



渋谷区のホームページより

渋谷区が運行するハチ公バスが、一部青山通りを運行することになります。渋谷区の担当者から、沿線の関係する町会長、自治会長らに説明されたものです。このバスは、渋谷駅から原宿駅、

運行開始は二月下旬から三月の予定。十五分間隔で午前八時から午後八時まで運行、料金は百円、シルバーバスは利用できません。青山にコミュニティバスを走らせる運動がきっかけとなり、区内一路線の「ちいばす」が運行されました。一日も早く、青山・西麻布地域にバスを走らせるため、引き続きがんばります。

党区議員団が提案した「石油価格高騰に係る緊急対策を求める意見書」が十二月七日の本会議で全会一致で可決され、内閣総理大臣などに送られました。石油の高騰で、トラック運送業者等燃料油を使う事業者などから「これでは経営がたゆまない」と悲鳴が上がると、生活と営業

に重大な影響が出ています。意見書は、政府に対し、「厳しさの増す区民の暮らしと営業を守り、消費者、地方への影響を緩和するため、ガソリンなど石油製品や食料品・日用品などの便乗値上げの監視の強化や、生活必需品である灯油、ガソリンの必要量の確保と、価格の引き下げなどの緊急対策を講じること」を強く求めたものです。

広尾病院は都立のまま 運動はじめる

東京都は、都立広尾病院をはじめとする都立病院を地方独立行政法人化するなど、都民の生命の守り手としての使命を投げ捨てようとしています。都立病院は、小児、周産期、救急、精神などの「不採算」となりがちな医療分野を重点としています。独立法人化されると、不採算部門が切り捨てられ、最悪の場合は、経営不振を理由に病院経営から撤退してしまう恐れもあります。いまの都立広尾病院は、総合救急診療の「東京ER」を運営し、休日、夜間も含む二四時間三六五日、常時対応できる救急体制で都民の命と健康を守っています。二区内の災害拠点病院としての役割と循環器や精神疾患と合わせ、産科、小児科、呼吸器科、伊豆諸島、小笠原諸島の患者の受け入れも行っており、島民にとってかけがえのない病院となっています。広尾病院の入院患者の十六％が港区民(第一位)、六％が港区民(第二位)となっています。区民にとってもなくてはならない病院です。いま、港区、渋谷区の人たちを中心に「広尾病院は都立のままです」と、病院を守ろうという運動がはじまっています。石原知事への要請、区議会への請願署名などを取り組む予定です。ご協力よろしくお願いたします。



都立広尾病院を守ろうと始まった署名

